

# HPV検査ってなあに？

(ヒトパピローマウイルス)

「自分には関係ない・・・」と思いませんか  
あなたにも感染リスクがあるのです。



## ★子宮頸がんは「HPVによる持続感染」が原因

子宮頸がんは、**ヒトパピローマウイルス (HPV)** の感染によって発生します。HPVは性交渉により感染するありふれたウイルスで、通常は感染しても免疫力で自然に排除されますが、約10%の人では感染が長期間持続します。このうち自然治癒しない一部の人は前がん病変を経て、数年以上をかけて子宮頸がんに行進します。HPVには100種類以上の型が存在することがわかっていますが、子宮頸がんに関係するHPVはハイリスク型HPVの中でも、**HPV16型、18型が子宮頸がんに進展**する可能性が高く、感染した後に**悪化するスピードも速い**といわれています。しかし子宮頸がんは検診によって予防や早期発見が可能ですので、**定期的な検診がとても重要**です。

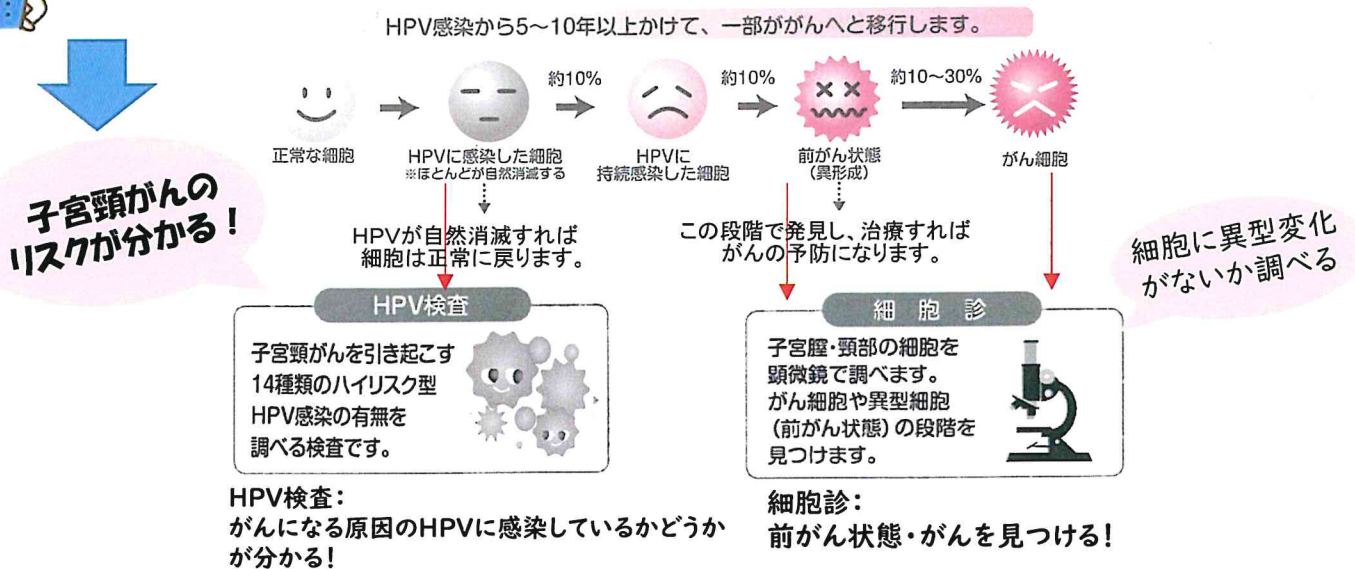
## ★HPV検査とは

子宮頸がんの原因と言われているハイリスク型ヒトパピローマウイルスの感染を調べる検査です。がんになっていなくてもHPVに感染していることがわかれば、将来病変が行進したり、子宮頸がんになるかもしれないという予測が可能になります。

(ハイリスク型HPVに感染していても必ず子宮頸がんになるわけではありません。)



## 郵送検診で分かります



## ★HPV検査で陽性だったら

HPV検査で「陽性」だった場合、まずは医師による子宮頸がん検診(細胞診)を受けてください。その結果が「異常なし」であれば、HPV検査が陽性であっても驚くことはありません。HPV検査で陽性の結果を受け、不安になる方がいらっしゃいますが、90%が自己免疫により自然消滅します。多くは一過性の感染ですが、気づかいうちに「前がん病変」や「がん」に行進しないように、**HPV検査で陰性を確認するまで一定の間隔で医師による経過観察を続ける必要があります。**

※裏面もお読みください



大腸がん検診、「忙しいから」「面倒だから」と受診しないまま放置してませんか？

ご都合のいい時に採取して返送するだけ！  
検診機関に出向かずに、自宅でする検査です。

## 大腸がんは早期発見・早期治療が大切

— 早期発見・早期治療ならほぼ100%治ります —

大腸がんは  
誰にでもかかるリスクがあります。

近年、食生活が欧米化し、特に食物繊維不足等により腸内環境が悪化し、がんが発生すると言われています。

▶ 最新の予測

がん罹患患者数	第1位
がんでの死亡原因	女性 第1位
	男性 第2位

出典: 国立がん研究センターがん情報サービス2022年のがん統計予測



便潜血検査は大腸がん検診の第一歩です。

2日分の便を採取して便の中に血液が混じっていないかを調べます。下部消化管（小腸、結腸、直腸、肛門）からの出血がある場合は、陽性反応がでます。

比較的若い方に発症しやすく、近年増加傾向の炎症性疾患（潰瘍性大腸炎・クローン病）の発見機会にもなります。

便潜血検査のしくみ



大腸がんやポリープなどがあると便に血液が付くことがあります。便潜血検査ではそのわずかな量の血液を調べます

結果が有所見であった方は、必ず精密検査を受けましょう。

検査機関では、受診者の方にあった病院をご紹介します。

紹介状の作成(無料)も行っていますので、  
お気軽に検査機関にお問い合わせください。

受診後も安心!!

メスブ細胞検査研究所まで

お気軽にお問い合わせください

TEL 075-231-2230(平日9:00~5:00)  
FAX 075-211-7400  
メール mail@msh-kyoto.co.jp

【注意事項】  
・ 郵送検診は自覚症状のない方を対象にしています。すでに自覚症状や気になることがある方は医療機関をご受診ください。  
・ 郵送検診はスクリーニング検診(一次検診)であり、検診結果は病名を診断するものではありません。要精密、陽性の結果が出た場合は、速やかに医療機関を受診されることをお勧めします。  
・ 郵送検診の検査結果のみで病名を判断できるものではありません。「異常なし・陰性」の結果の方も、自覚症状や気になることがある方は医療機関を受診されることをお勧めします。